

# 施策分析シート（平成24年度）

No1

<b>施策名</b>	産業基盤の整備・充実	<b>施策No</b>	05-01	<b>部課名</b>	産業経済部経営支援課		
<b>関連部課名</b>							
<b>行政評価</b>	<b>分野</b>	産業革新都市[ ]					
<b>事業体系</b>	<b>政策</b>	活力ある地域経済づくり[05]					
<b>目的</b>	区が有する交通結節点としての優位性やモノづくり企業の集積等の地域ポテンシャルを活かした産業基盤の整備・充実を図ることにより、区内企業の活動を支援し、産業の活性化を促進する。						
<b>指標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	指標の推移					<b>指標に関する説明</b>
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (28年度)	
	産業情報システムへの登録企業数 ( )は登録率%	11,016 (95.6)	10,506 (95.4)	10,351 (95.7)	10,473 (97.0)	10,565 (98.0)	20年度～23年度実績(年度末) (登録企業数 / 区内企業数)
<b>現状と課題 (指標分析)</b>	景気の低迷や外国製品との競合等による売上高の減少、経営者の高齢化や後継者の確保難等により、事業所数の減少傾向が続いており、産業活力の低下を来している。  モノづくりのまち「荒川」を再生するため、新分野進出、販路拡大、後継者育成など、区内企業の経営革新に向けた取組みを支援するため、ハード、ソフト両面から基盤整備を一層推進するとともに、新たな区の基幹産業となりうる新産業の育成に取り組むことが必要である。						
<b>今後の方向性</b>	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》  産業振興の拠点となる産業振興施設の整備の必要性等について総合的に検討を行っていく。  区内企業の情報を一元的に収集し、今後の産業振興施策に有効活用を図っていく。  区内のモノづくり企業の団体である工業団体連合会を支援し、企業間交流及び人材育成を促進する。						

施策の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
推進	推進	ハード、ソフト両面から産業基盤の整備・充実を図ることは、区内産業の活性化を促進していくために必要不可欠であり、当該施策の優先度は高い。

# 施策分析シート（平成24年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		22年度	23年度	24年度 設定	25年度 設定	
産業振興施設整備	04-02-01	0	0	継続	継続	平成18年度、19年に実施した産業振興施設の整備の必要性や緊急性、必要となる機能、設置場所、事業コスト等についての基礎調査結果を踏まえ、産業振興施設の具体化に向けた検討は必要。
産業振興懇談会運営	04-02-02	314	0	推進	推進	新たな産業振興施策の構築のためには、各分野の専門家や企業経営者等による大所高所からの検討は重要である。
地域産業情報システム事業	04-02-03	772	756	推進	推進	区内企業の情報データベース整備・充実は、区内産業の状況把握や受発注等販路拡大に繋がるものであり、重要である。
工業団体連合会補助事業	04-02-04	26	14	継続	継続	工業団体連合会は区内のモノづくり企業を束ねる唯一の団体であり、その維持・継続のための一定の支援は、区内産業振興の観点から必要。
合 計		1,112	770			